

- 問1 室町幕府の第3代将軍であり、約60年にわたって続いた朝廷の分裂状態を解消する「南北朝の合一」を成し遂げた人物は誰ですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 足利義政 2. 足利義昭 3. 足利尊氏 4. 足利義満
- 問2 室町時代に成立した文化について述べた文章の（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
「この時代の武士の住居には、禅宗寺院の様式を取り入れた（X）」という建築様式が用いられました。そこには畳が敷かれ、床の間が設けられるなど、現代の和室の原型が見られます。また、絵画では（Y）が中国から伝わった技法をもとに水墨画を大成させました。」 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. X：書院造、Y：雪舟 2. X：寝殿造、Y：雪舟 3. X：寝殿造、Y：狩野永徳 4. X：書院造、Y：狩野永徳
- 問3 室町幕府の政治体制において、足利義満が京都の室町に御所を構え、南北朝の統一を成し遂げた時期に、将軍の補佐役として政務を統括した役職の名称を選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 執権 2. 老中 3. 関白 4. 管領
- 問4 室町時代に行われた明との貿易における、輸出入品と幕府の目的について説明した文章として、当時の経済状況を正しく反映しているものを選びなさい。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 日本からは銅や硫黄、刀剣などを輸出し、明からは当時の日本で通貨として流通した銅銭や、衣料原料の生糸などを輸入して幕府の財源とした。
2. 日本からは陶磁器や漆器を輸出し、明からは香料や象牙を輸入して、幕府がそれらを独占的に東南アジアへ再輸出する中継貿易を行った。
3. 日本からは銀や米を大量に輸出し、明からは鉄砲や火薬などの武器を輸入することで、幕府の軍事力を強化しようとした。
4. 日本からは生糸や茶を輸出し、明からは綿織物やキリスト教の経典を輸入することで、新しい文化を国内に広めようとした。
- 問5 15世紀から16世紀の東アジアにおける琉球王国の物流の様子について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 日本から輸入した銅や刀剣を明や東南アジアへ輸出し、東南アジアから輸入した香辛料を明や日本へ輸出する仲介役を担った。
2. 東南アジア諸国から輸入した鉄砲やキリスト教を背景に、日本に対して武力による領土拡大を試みた。
3. 明から輸入した生糸や陶磁器を自国内だけで消費し、日本に対しては琉球独自の特産品である銀や米を大量に輸出した。
4. 明への朝貢を一切行わず、日本やポルトガルの商人から直接輸入した産物を東南アジアへ輸出する独自の独占ルートを築いた。
- 問6 15世紀半ばに京都を中心に発生し、都の大部分が戦火に包まれ荒廃したことで、祇園祭などの伝統行事も長期間にわたって中断する事態を招いた戦乱を何といいますか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 応仁の乱 2. 壬申の乱 3. 観応の擾乱 4. 承久の乱
- 問7 室町時代の幕府の仕組みや役職の性質について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 将軍の補佐役として執権が置かれ、特定の有力御家人が世襲でその職を独占した。
2. 有力な守護大名が交代で管領に就任し、将軍を補佐して政治を動かした。
3. 将軍直属の軍事力である奉公衆の中から、実務に長けた者が管領として抜擢された。
4. 譜代大名の中から複数の老中が選ばれ、合議制によって幕政が運営された。
- 問8 14世紀から15世紀頃の室町時代には、大陸との交流などを通じて新しい文化が生まれました。この時代の文化に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 本居宣長が、日本の古典を研究して『古事記伝』を著した。
2. 雪舟が、明に渡って学んだ技法をもとに水墨画を大成させた。
3. 紀貫之らが、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』をまとめた。
4. 伊能忠敬が、全国を測量して極めて正確な日本地図を作製した。
- 問9 1428年に近畿地方で発生した正長の土一揆では、馬借や農民が当時の金融業者を襲い、借金の破棄を要求しました。このとき、襲撃の対象となった、当時の金融業を兼ねていた有力な業者として正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 酒屋・土倉 2. 問丸・座 3. 守護・地頭 4. 株仲間・問屋
- 問10 室町時代に近畿地方を中心に形成された、有力な農民たちによる自治的な村の組織として正しい名称を選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 問 2. 五人組 3. 惣 4. 座
- 問11 14世紀末から15世紀にかけて、室町幕府の将軍である足利義満は中国の王朝である明と正式な国交を樹立しました。この貿易において、明側が「勘合」と呼ばれる証票の使用を日本側に求めた主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を目的とする宣教師の入国を厳格に制限するため
2. 日本に派遣される明の使節が、幕府から十分なもてなしを受ける権利を証明するため
3. 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため
4. 日本国内で産出される銀の総量を把握し、明への輸出を義務付けるため
- 問12 室町時代の中期から後期にかけての歴史的事項を記した資料において、銀閣（慈照寺）を建立したことでも知られる8代将軍の時代に起こり、京都の大部分を焼き払うほど長期化した戦乱の名称はどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 応仁の乱 3. 壬申の乱 4. 観応の擾乱
- 問13 能に関する歴史的背景や特徴について述べた記述として、最も適切なものを説明文の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 近松門左衛門が脚本を書き、三味線の伴奏に合わせて人形を操る芸能として発展した。
2. 平安時代に貴族の間で親しまれた和歌や蹴鞠が、武士の作法として制度化されたものである。
3. 江戸時代の初めに出世の阿国が始めた踊りがもととなり、都市の庶民の間で流行した。
4. 室町時代の将軍の保護を受け、観阿弥・世阿弥によって芸術として完成された。
- 問14 中世の社会情勢をまとめた資料において、武士による政権の成立や、有力な農民による村の自治、裕福な商工業者による都市の自治といった動きが見られます。これらの社会変化を支えた、農業や諸産業の発展に伴う経済的な動きとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 幕府が和同開珎などの貨幣を大量に鋳造し、全国の市場に流通させた。
2. 商人が幕府から独占販売の権限を与えられ、株仲間を結成して利益を上げた。
3. 飢饉による米不足から、都市の民衆が米屋を襲う打ちこわしが頻発した。
4. 各地で特定の日にちを決めて定期市が開かれ、物資の流通が盛んになった。